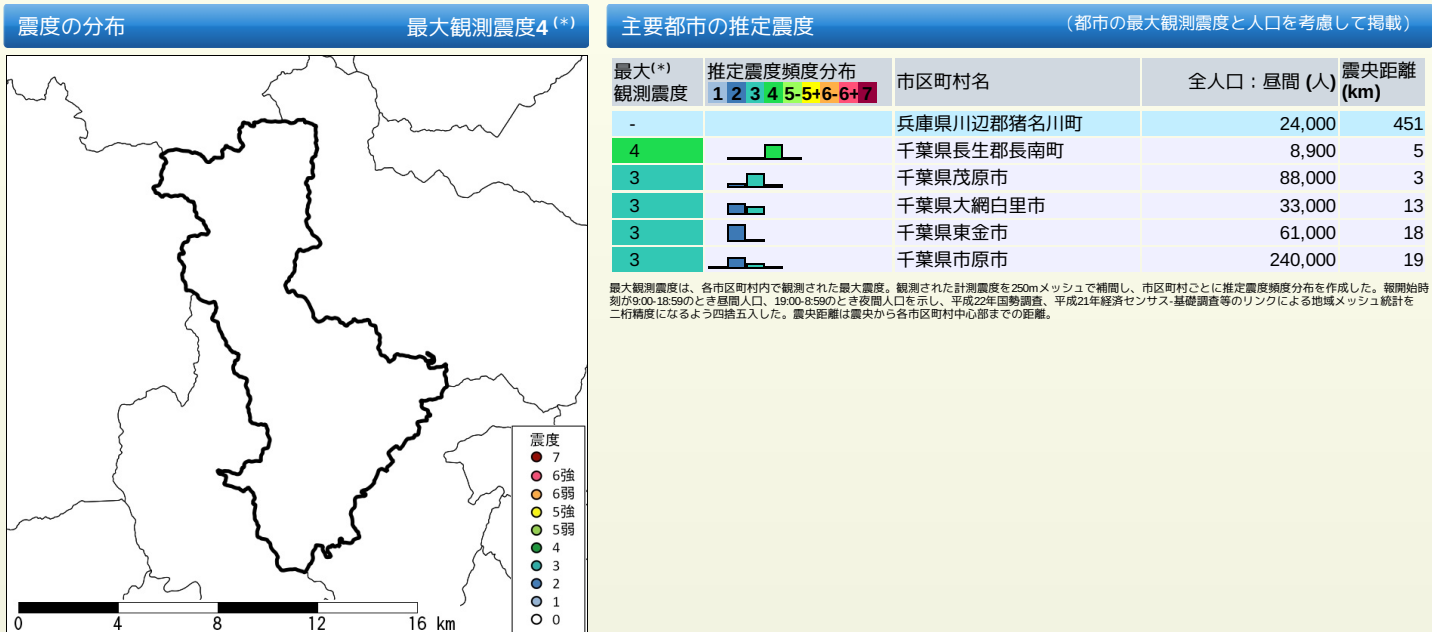


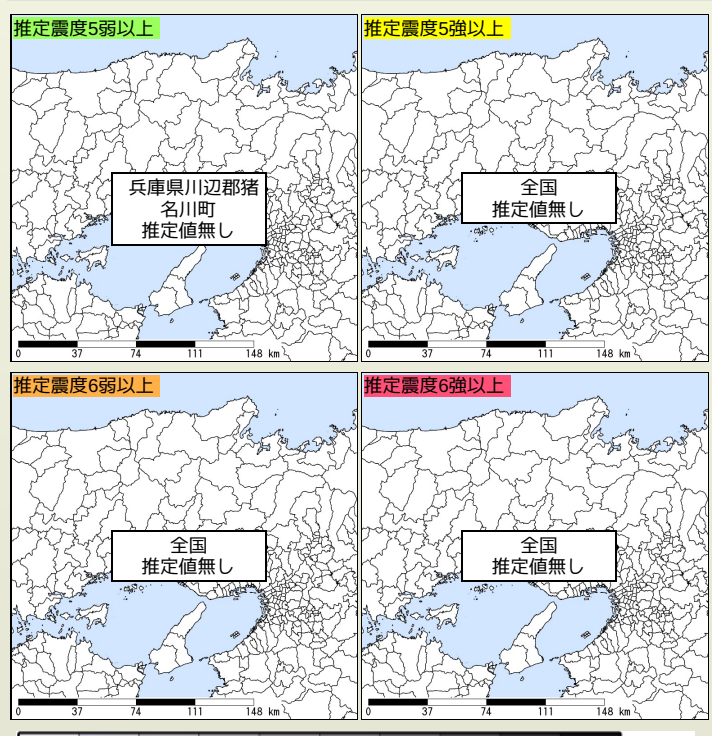
M 4.5, 震源地:千葉県北東部, 深さ約30km, 2020/02/20 12:53頃発生 (気象庁発表)

兵庫県川辺郡猪名川町



解析開始時点(2020/02/20 13:03:33)で収集されている防災科研K-NET, KIK-net, 気象庁, 地方公共団体震度計の計測震度データを利用。(*) 気象庁発表の情報と一致しない場合がある。一部正式な震度観測点ではない観測点を含む。暫定的な震度値を含む。丸印は観測、塗りつぶしは推定データ。×印は震央位置。他の図表も同様。

行政区ごとの震度遭遇人口 (各震度階級の揺れに遭遇した人口を考慮して掲載)



行政区名	震度5弱以上 遭遇人口	震度5強以上 遭遇人口	震度6弱以上 遭遇人口	震度6強以上 遭遇人口
兵庫県川辺郡猪名川町				
全国	1,000未満			
千葉県	1,000未満			
千葉県長生郡長南町	1,000未満			

全国および震度遭遇人口の多い都道府県と市区町村について掲載。震度遭遇人口が1~999人の場合は1000未満と表示。全国、都道府県の値は、市区町村の値の合計と必ずしも一致しない。

補間した250mメッシュの推定震度分布と、250mメッシュに細分化した平成22年国勢調査、平成21年経済センサス-基礎調査等のリンクによる地域メッシュ統計を重ね合わせ、各行政区の震度遭遇人口を推計した。

震源域付近で起こった過去の主な被害地震

発生年	地震名	M	被害
1895	茨城県南部	7.2	北海道・四国・中国の一部まで地震を感じた。被害範囲は関東東半分。全潰53(家屋43, 土蔵10), 死6。
1915	房総半島	6.0	下香取郡方才村・長生郡西村・その他崖崩れがあり、傷5。人家・物置の潰れがあった。群発地震で、12日から地震が続いていた。
1921	茨城県南部(竜ヶ崎地震)	7.0	千葉・茨城県境付近に家屋破損・道路亀裂などの小被害があった。従来、竜ヶ崎付近の地震とされていたもの。
1922	千葉県西岸(浦賀水道地震)	6.8	東京湾沿岸に被害があり、東京・横浜で死各1。家屋・土蔵などに被害があった。
1923	神奈川県西部(関東地震, 関東大震災)	7.9	東京で観測した最大振幅14~20cm。地震後火災が発生し被害を大きくした。全体で死・不明10万5千余。住家全潰10万9千余。半潰10万2千余。焼失21万2千余(全半壊後の焼失を含む)。山崩れ・崖崩れが多い。房総方面・神奈川県南部は隆起し、東京付近以西・神奈川県北は沈下した。相模湾の海底は小田原-布良線以北は隆起、南は沈下した。関東沿岸に津波が襲来し、波高は熱海で12m, 相浜で9.3mなど。
1924	神奈川県西部(丹沢地震)	7.3	東京・神奈川・山梨・静岡各県に被害があり、死19。家屋全潰1200余。特に神奈川県中南部に被害が著しかった。
1987	千葉県東方沖	6.7	千葉県を中心に被害があり、死2, 傷161。住家全潰16, 一部破損7万余のほか、道路などにもかなりの被害があった。
2012	千葉県東方沖	6.1	東北地方太平洋沖地震の周辺誘発地震で正断層型地殻内地震(深さ15km)。死1, 傷1。最大震度は5強(茨城県神栖市, 千葉県銚子市)。

出典: 国立天文台編「理科年表 平成29年」, 丸善出版(2016), 一部表現を割愛

J-SHISから公表している地震ハザード情報

防災科研が公開するJ-SHISでは、ある地点に対し影響を及ぼす全ての地震を考慮し、その地点が大きな地震動に見舞われる危険度、すなわち地震ハザードを評価しています。(2019年地震ハザード評価)

50年間超過確率2%の計測震度分布 再現期間50000年相当の計測震度分布

